

県立麻生総合高等学校 学校教育計画

4年間の目標と主な方策（平成28年度～31年度）

	視点	4年間の目標	具体的な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの自主的・意欲的な学習を支援するために、基礎学力の定着と生きる力を育む教育課程を編成する。 授業内容の精選、教授法の研究に組織的に取り組み、授業力向上を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎から発展科目への繋がりを体系化し、系列については四系列に整理した教育課程を編成し、多様な進路の実現を支援する履修科目を設定する。 授業研究、研修会などを計画的に実践・研究し、体験的で分かり易い授業のあり方を職員間で共有する。同一科目における共通テストを進める。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの自己肯定感を育み、安全かつ安心して生活が送れる学校づくりを進める。 心と体の健康と「いのちの尊重に関する教育」の組織的な研究・実践を推進し、社会性と主体性を伸長する。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の立ち番指導、遅刻指導を継続する。 年2回いじめアンケートを実施し、生徒の実態を把握する。 中学生向けの部活動体験や在校生の仮入部を、入部率を上げる効果的なものとするよう検討する。 教職員が生徒を支援する知識や能力を獲得するための研修を充実させる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに応じた進学・就職に向けた指導を充実させる。 ガイダンス科目を通して社会的・職業的に自立することを目指す人間を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的に進路説明会を行う（三者面談を効果的に実施できるよう内容や資料作成の年次進行による系統化を行う）。 校外連携講座等への参加を生徒に積極的に呼びかけ、生徒が進路選択の幅を持つことができるようにする。 計画的に生徒が発表する機会を設け、生徒がその発表を目標に学習できる教材を作成し、指導する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 社会に貢献し、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事やボランティアへの積極的な参加を呼びかけ、社会貢献が重要であるという意識を育む。 地域の方々との交流や地域事業所等と連携し、生徒が積極的に交流・参加できる環境を整備する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教職員が不祥事防止の意識を持ち、保護者・地域・県民から信頼される学校運営を行う。 生徒の安全・安心の確保のため、環境教育や防災教育を充実させる。 組織的な学校運営のため、OJTによる人材育成を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止会議の教職員による発表の実施。 生徒による防災教室の実施。月例清掃の実施。DIGの研修会の実施。 複数担当制によるチェック機能の充実と引継ぎ体制を確立する。